

デザインの現場

DESIGNERS' WORKSHOP

vol.16 no.105

1999

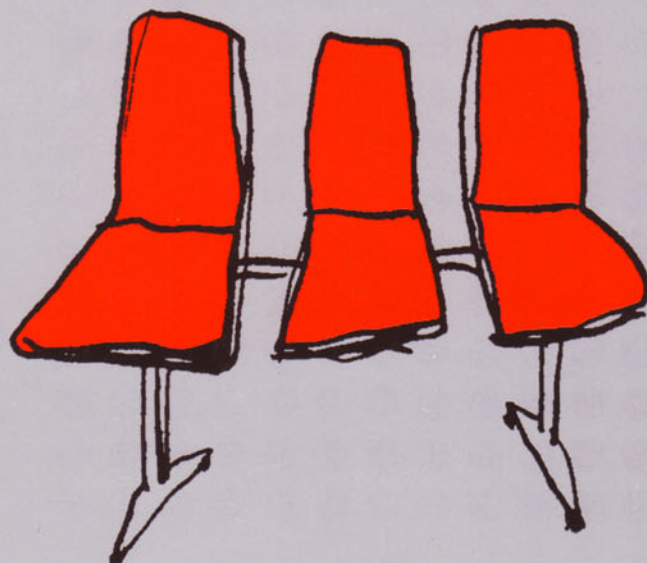
10

Oct.

特集

日常感覚のファニチャーデザイン

H Design Associates/EXIT metal work supply/
TRUCK/Wise·Wise/西堀 晋/soup design associates/CASE REAL/graf
IDÉE/E & Y/TIME & STYLE/trico
無印良品/Franc franc



新連載 デザインの「現場」のデザイン

新連載 基礎からのタイポグラフィ

短期連載 2008年大阪オリンピックをデザインする・最終回

追悼 長沢 節

特別記事 Creator's Works・志水則友

もともとは一般ユーザーに向けてつくられたとはいえ、デザイン事務所などでもお目にかかることもしばしばあるiMac。しかし中には、買ったはいけれども収まりの悪さをやや持て余しているユーザーもいるのではないだろうか。今回デザイナーのための道具として登場するのは、そんなiMac所有者のためのテーブル。シンプルな見かけの中には、現代デザインに対する提言も含まれている。このテーブルをデザインした酒井俊彦氏に話をうかがった。

取材・文／渡部千春
TEXT by CHI HARU WATABE

机面がマウスパッドになる iMac用コンパクトテーブル



iMacのためのテーブル。机面の素材はビニールレザーで、押すとふかふかとした感触。iMacを載せる部分から持ちくぼんでいるのにも注目。
価格＝53,000円 問い合わせ＝アッサンブラージュ (03-3770-7911)

白いビニール張りの小さなテーブルは、かつて電話とメモ帳を載せるための電話台がそうであったように、iMacが載るためだけにある。天板にはマウスパッドの役割をするソフトな生地を使用しているため、iMacのほかに何もいらないミニマルなものだ。

このテーブルをデザインしたのは、フリーのプロダクトデザイナー、酒井俊彦氏。彼の手がけるジャンルはテレビなどの工業デザインから、家具、雑貨まで幅広い(時折CGや書き物の仕事もするマルチブリエールも見る)。もともとは工業デザインの会社に勤めていたが、退社と同時に実家の喫茶店の改装を手がけることになり、これ

がきっかけでインテリアデザインに興味を示すようになった。酒井氏がデザインした家具の中でもっとも知られているのは、布張りの椅子だろう。ポップな色合いと曲線の形状が受けて、一般誌でも多く取り上げられている。また、三万六千円という若い人でも買える価格設定も共感を呼んでいるようだ。その徹底したコスト感覚はやはり十二年の工業デザイナーとしてのキャリアがバックボーンにあるからだという。

「素材や加工の値段の知識は経験から覚えているものです。最初に上代(販売価格)を設定してからデザインを考えれば、それほど無理ではない。工業デザインをやっていますから、値段が高くては売れないのを身にしみて分かっているんです。大切に使用してもらいたいものは量産せずに、それなりの設定をすることもありますが、やはり買える値段にしている。たとえば、材料費だけで何十万もかかった椅子なんかは僕自身は好きでも商品としては失敗なんです」。

コストを下げることもそうだが、酒井氏が提案するのは「削ぎ落とす」の感覚。今のプロダクトは余計なデザインが多すぎる、と酒井氏は言う。天ぶらの絵のついたレンジ、走り出しそうな形の電話器など、余計な要素があるために買いたくないプロダクトは挙げればきりがなし。彼自身、大手メーカーのデザイン室を訪れることもあ



さかいとしひこ 1964年高知生。東京造形大学卒業後、コーゾーデザインなどを経て92年サカイ デザイン アソシエイツ設立。ロジック社コンピュータ周辺機器やLG社(韓国)の電化製品などの工業デザインのかたわら、家具や雑貨のデザインも手がける。91年グッドデザイン賞ほか、受賞多数。家具は代官山「アッサンブラージュ」などで購入可能。
連絡先＝渋谷区千駄ヶ谷5-11-13 協信ビル
1F 〒151-0051 ☎03-5363-1039